

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：金沢市東山1-38-30・松魚亭

TEL<0762>52-2271 FAX52-2273

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL<0762>22-2525 FAX24-2882

会長：鈴木 透 幹事：坂下 直人

情報委員長：磯野 洋明

1990年8月30日 第421号

「これからの景気」

日本銀行金沢支店長

高柳 卓三氏



今年の春先には、株、債券、為替のトリプル安もあって、大分悲観論が優勢で「日本経済黄昏論」が盛んでしたが、その中において私共は「日本経済の腰は強い。多少のスピードダウンはしても、設備投資、個人消費を両輪とする景気拡大の基調に特に変化はない」と言い続けてきました。今回の景気拡大の長さは、今年の5月で戦後2番目の岩戸景気を超へ、愈々いざなぎ景気に迫って行くこととなります。この景気は単に力強い拡大が長期間持続していると言うだけではなく、その内容が構造調整の進展を伴いつつ、我国全体と

してのバランスの改善が進んでいることが指摘できます。それは、物価が総じて安定基調を維持する中で、外需が一貫してマイナスを続ける一方、内需の高い伸びがGNPを押し上げると言う内需主導型の成長パターンが定着してきていることです。この流れは今後も続き得るのではないかと思います。この内需拡大に伴う設備投資には、企業収益が良いといった景気循環的要因だけでなく、省力化、合理化、新製品開発、新規事業展開、商店街駅前再開発といった中長期的投資、戦略的な生き残り投資とする持続性のある投資が多いのが特徴です。

個人消費についても「高級高額化」「レジャーサービス化」「個性差別化」の三つの流れが根付き、これが消費コンフィデンスを高めているようです。ベア、雇用情勢などから見た所得環境も良好ですので、むしろ春以降個人消費はやや勢いを増しているようにも思われ、株価下落に伴う逆資産効果はどうやら杞憂に終わったようです。このように日本経済は長期成長への軌道を走り始めたとも言えそうですが、そうした中で「国民生活のさらなる向上」と対外不均衡是正を通じた「世界経済の調和ある発展」に我国経済が世界の中でどのように位置づけられ、又どのような役割を果たしていくことが期待されているのかを絶えず自らに問いかけ、見直していく必要があります。

私共日銀では景気については決して楽観論で見ている訳ではありません。株式債券等の下落は昨年末の行き過ぎの是正と見られますが、基本的には金利水準や金融基調の変化に伴う市場の調整のプロセスと考えておりますし、景気拡大によるインフレを予防的措置によって未然に防ぎ、物価の動向を注意深く見ていきたいと考えております。

—金沢北RC例会講話より— (文責 磯野洋明)

私 の 名 刺

山 本 幸 雄



この度伝統ある「金沢北ロータリークラブ」のメンバーに加えていただき、大変光栄に思っております。有難うございました。

私は京都で6年の修業の後、父の家業の表具師を継ぎ、今日、掛軸や額、屏風、古画修復等表具に関して全てこなす様に日々戦争の様に過ごしております。

昭和58年より金沢市工芸展に連続入選し、今年は日本工芸会石川支部会員にもなり、めづらしい「その他の工芸」部門に一端をになっております。

まだまだ勉強不足で皆様に教わる事が多すぎまして、毎日感謝と修練の日々を送っております。

以前より、自分の仕事で社会に役立てたらと、思っまいました所、ロータリークラブとは正に、その通りのクラブと、聞き安心した次第です。

一地方都市や個人事業という考えではなく、より広く日本文化、^わ倭の文化、つまり紙文化をよりアピールしていくことが出来ればと思っております。

自分の本分を忘れず一歩進むだけでも充分と思っております。

修練では諸先輩会員より、良いお話を聞かしていただき、私のためにニコニコボックスを入れていただき、本当に有難うございました、終生肝に銘じ、ロータリアンの名に恥じない様に努力する事を忘れない様にいたしたく思います。

今後共、御指導の程よろしくお願い申し上げます。

第4回 ベルギーロータリー短期交換学生

7月29日(日)に金沢入りした51名の中から、MATHIU VERSURATE (マチュ・ブルストラート)君(20才、ベルギー、ゲント市、ゲント大学学生、スポンサーRC GENT NOODS)は米沢真二会員宅に、ANNE MICHAUX (アンナ・ミッシェル)さん(18才、ルクセンブルグ、GILSDORF、スポンサーRC DIEKRICH-ETTELBRUCK)は木村丹二会員と石丸幹夫会員宅にホームステイし、8月6日まで滞在しました。



「戦争。我が懺悔」(2)

越野 民男

銃殺未遂



ソ連兵に射殺されそうになった事が三回あった。二回はこの宿舎で、あとの一回はソ連領に入ってから。

その都度「どうせ捨てた生命」と自分に言い聞かせたものの、やっぱり犬死はしたくなかった。

治安も大分回復しており医者の方に傷の治療にやって来るソ連兵さえいる程になっていた。宿舎には勿論女は居ない。然し我々の所持品目的に来るソ連兵はよくあった。名目は点検である。こちらも要領が分かったから簡単には渡さない。彼等が奉天へ入ってから10

日位たった。策の外の中国人も大分少なくなって来た。8月末日。日中は暑いが朝夕は大分冷えこみ始めた。さすがに夜になると策外の中国人の姿もまばらとなって来た。

そんな或る日

3人のソ連兵が現れた。勿論名目は点検である。宿舎は広い。一棟約100名。長い平屋建が九棟行儀よく並び、その他に炊事、食堂、浴場、洗濯所、共同便所がある。折悪しく彼等が最初に入ったのが守衛の部屋だった。その荷物の中から手榴弾が十発余り出て来た。

「さあ、大変」

こちらは勿論真青になったが、彼等の顔からも血の気が引いた様に見えた。

外へ引き出される。凄味のある大声で怒鳴り始める。親指を立て、私を指差して居る所を見ると、私が「長」かと聞いて居るらしい。

「ダ」……仕方がない。此の光景は策外の中国人の興味をよんだか。早く殺して、此所を追い出せと叫んでいるのであろう。彼等のワイワイした騒ぎが急に激しくなる。

観念するしかあるまい。私は外壁を背にして立たされた。ただそこは中国人から直接見えぬ位置になる。両手を上に上げ、両下肢を広く開いて大の字となる。五米位手前でソ連の銃がこちらを睨んでいる。

「越野民男此所で死す」両親の顔が頭をよぎった。然し涙もタメ息も出て来ない。

頭の中も、身体中も空っぽとなった。

二発銃声が響いた。一発は頭の上で、一発は股間で。壁に穴を穿ち、カケラが散らばり落ちる。

ソ連兵は盛んに手を振り、早く立ち去る様な素振りをしている。策外から歓声と拍手が響いた。私の死を祝福する様にいつ迄も、いつ迄も。中国人に私を射殺したと云うカムフラージュの発砲だったらしい。

その夜中国の一紳士が尋ねて来た。且って中国雇用者用に部隊で働いてもらって居た医者の方の呉先生である。私が生きて居るのを見て涙を流して喜んで下さった。策外の中国人から確かに射殺されたと聞いたそうだ。戦争は二つの国の間に大きな溝を作ってしまった。中国の人は殆ど日本人を憎んでいる筈。又日本人も十分恨まれる事をやって来ている。然し呉先生はすべての過去を捨て只々私の生きて居た事を心から祝福して下さった。

強く握られた手は何時迄も痛く、然し心温まる感触を残して居た。日本国民は悪くない。為政者が悪いのだ。呉先生はそこ迄理解されて居られる様に見えた。あの時の愛の手の嬉しさ何時迄たっても忘れないだろう。国敗れ苦しいドン底の中で見た人間の愛情であった。彼を見送って見上げた星空は涙で曇っていた。あゝ、今日も生きて居られた。それにしても早く祖国へ帰りたい。とめどもなく涙が湧いて来た。

集団強盗

夏去る。秋が来てもあっと云う間に厳しく長いこの国の冬がやって来る。何時日本へ帰られるだろう。その間に何が起こるか分からない。兎に角、800名。全員越冬させねばならない。石炭の在庫は尚大分ある。撫順炭杭が近くにあったのが幸いした。然し食糧は少ない。18才未満、その殆どはまだ16才の少年達である。「生きる為」「無事に帰国する為」。街では尚掠奪暴行殺人等後を立たないとか。日本人の屍体があちこちに放置され、女は皆坊主頭……最も弱い環境下に立された日本人。善悪は別問題、護身の為には手段は選んで居られない。現在は法も罰も取り締まりもない。強者が弱者を支配する世だ。

集団強盗。周囲の農村を襲え。秋の短い農村では今が収穫の最盛期である。可能な限りの食糧を留積しよう。我々は未だ烏合の衆ではない。立派に組織された集団だ。日本人の所持品を狙う彼等への逆行動を起こそう。早速計画が立てられた。一グループ30名、引率者2名、台八車3台。目標の部落の地図迄用意されスケジュール表が壁に張り出された。貯蔵庫として一棟を開放。一晩に二グループ出発。等々計画と準備は完璧。

第一回目は思わぬ収穫を持って帰って来た。回を重ねる度に野菜や穀物の山が積み重なって行く。

私の出番がやって来た。目標の部落へ到着。深夜の2時頃である。グループの殆どが貯蔵庫を目ざして駆け込んで行く。それを警護する者もいる。引率官を中心に数名が部落の主要人物を一ヶ所に集合させ釘づけにする。収穫物は次々に台八車に積み上げられる。その間約30分。「出発」一同帰途につく。行動は更に迅速となる。声一つ咳一つなく、無言の行列が進んで行く。その前方約500米を偵察隊が先行する。

「ソ連の戦車」伝令が走って来る。「それっ」台八車は荷物の俵畑にひっくりかえされる。全員夫々畑の窪みや土手を見つけて腹這いになる。頭も尻も暗闇の中で静止したまま、風も動かない。ゴォゴォ戦車は不気味な音を残して遠ざかって行った。何事もなかった様に、台八車は起こされ、「出発」盗人、強盗、万引。勿論未経験者ばかりであったが「生きる」為だけである。悪事も正道。あの敗戦直後のショックから少しは立ち上がったか。動作もいきいきし、不安だった顔色もやわらいで来た様にも見える。今や道徳も良心も修身もない。むごいが只生存競争あるのみ。敗けても勝ってもこれが戦争であろう。平和な今日。暴走族が我が物顔でつっ走る今日。然しそれとは全く違う。責められない。16才の彼等の顔には悲想の中にも笑みが見えました。

収穫品は長い一棟の半分以上を占めるまでになった。「もうこの冬は大丈夫」街は極端な食糧難だとか、破格な値段で取り引き出来るかも知れない。約10日間の集団強盗も目出度く打ち上げられた。精根込めた百姓の汗と努力。憤慨と溜息。何れも我々の胸には浮かんで来なかった。

(次号につづく)

理事會報告

8月2日(木) 出席者16名

◆金沢6RC幹事會報告

- ① 地震の義援金
イラン・フィリピンの件、各RCで対応する。
- ② ほほえみ運動推進協議会の件
総会に出席して、趣旨を聞く。
その上で次回幹事會にて審議
- ③ その他 合同會計より報告
 - ・ワープロ設置に伴う、電源工事終了報告。
 - ・ワープロ用椅子6ヶ購入報告。
 - ・ガバナー公式訪問記念品の件
最終の金沢RCで記念品を準備し、渡してもらう
 - ・金沢市内テリトリーの件
ガバナーの要請により、香林坊RCからテリトリ一地図を提出

◆各委員會報告

- 職業奉仕委員會
11月15日(木)職場訪問例会
高岡製箔(株)ショールーム・茶室(金箔)の見学を予定。
- 國際奉仕委員會
ベルギー交換學生送別會
金沢スカイホテルにて8月5日(日)
- 地域開發委員會
8月31日 日韓親善野球大會開催
入場券(800円)の希望者をつのる。
- 親睦委員會
結婚、誕生祝カードを、吉田富士夫君のサイン入(自筆)で作製。

7月例会出席狀況

出席率 100%

會員名	月日	7/5	7/12	7/19	7/26	7月	會員名	月日	7/5	7/12	7/19	7/26	7月
浅田 禎男		○	○	○	M	◎	岡田 進		M	○	M	M	◎
浅田 豊久		M	M	○	M	◎	奥田 久雄		○	○	M	○	◎
浅野 弘明		○	M	M	○	◎	乙村 幸吉		○	○	○	○	◎
安宅 雅夫		M	○	○	M	◎	坂口 直人		○	○	○	○	◎
大門 重樹		○	○	○	○	◎	坂下 健太郎		○	○	○	M	◎
大藤 川忠博		M	M	○	M	◎	桜井 哲夫		M	○	M	M	◎
二木 正樹		○	○	○	○	◎	佐藤 正哲		○	○	○	○	◎
二合 塚田昌英		M	○	M	M	◎	関田 三郎		○	○	M	○	◎
橋田 奨人		○	○	M	○	◎	柴田 忠次		M	○	○	M	◎
長谷川 善昭		○	M	○	○	◎	清塩 喜代次		○	○	○	○	◎
梶川 昭夫		M	○	○	○	◎	鈴木 透丸		○	○	○	○	◎
東川 美夫人		○	○	○	○	◎	高木 菊昇		○	M	M	○	◎
本市 則志		○	M	M	○	◎	高岡 憲三		○	○	○	○	◎
飯野 健志夫		○	○	M	M	◎	滝田 善明		○	○	○	M	◎
石丸 幹夫		○	○	○	○	◎	玉田 外代吉		○	M	○	○	◎
磯野 洋明		M	○	M	M	◎	俵田 良二		○	M	M	M	◎
岩倉 舟伊智		○	M	M	M	◎	坪土 判治		○	○	○	○	◎
勝木 誠仁		出	席	免	除	◎	土屋 一陽		M	M	○	M	◎
木村 丹二		○	○	M	○	◎	土田 彦成		○	M	M	M	◎
木下 和吉		○	○	○	○	◎	佃田 信彦		○	○	M	○	◎
駒栄 敏雄		M	○	○	○	◎	上野 正博		○	M	M	M	◎
小間井 宏尚		M	○	M	M	◎	梅野 安彦		○	○	○	○	◎
越田 和民		M	○	○	○	◎	卯野 三朗		○	○	○	○	◎
越野 守男		○	M	○	M	◎	若野 健一		○	○	○	○	◎
小杉 善嗣		○	○	○	○	◎	早稻田 邊		○	○	○	○	◎
小畔 柳信		M	M	○	○	◎	渡山 与章		M	○	M	○	◎
増江 博夫		出	席	免	除	◎	山本 章麒		○	M	M	○	◎
松田 忠秋		○	○	○	○	◎	山米 永澤		○	○	M	M	◎
本岡 三千次		○	○	○	○	◎	米沢 修真		M	○	○	○	◎
中村 三省		○	○	○	○	◎	米谷 富夫		○	○	M	○	◎
中村 栄治		M	○	○	○	◎	大場 雄弘		○	○	○	○	◎
大谷 雅弘		○	○	M	○	◎	及川 精二		M	○	○	○	◎
大村 精太郎		○	○	○	○	◎	岡田 林太郎		○	○	○	○	◎

第841回例会 早朝例会

◆ 8月9日(休)はれ 6:00~7:30 仰西寺



1. 法話
「蝸牛春秋を識らず」
仰西寺住職 熊谷宗恵氏
2. 出欠
出席44名、欠席37名
出席率54.32%
3. 来訪者
(昼受付・敬称略)
富山中RC
須賀正(眼鏡卸)
金沢RC 小川利郎

蚊谷八郎、大友佐俊、玉川久栄
河野良三、井上幸男、杵名修
武部昭一

金沢東RC 浅田裕久、山岸敬秀
示村均、野村清、三島良樹
金沢西RC 小西陽夫、成瀬巖
別川献、操川由一
金沢南RC 加藤英資、松本要
杉野健二、
香林坊RC 加藤正代

4. 今週のニュース

- イラク軍クエートへ17万人の兵力。米もサウジへ5万人派兵。
- 江川金沢市長引退表明「次代を担う人に譲る」
- 森重文京大教授にフィールズ賞(数学のノーベル賞)授与される。



7月のクラブ日誌

- 7月1日(日) 金沢北RC第6回ゴルフコンペ
能登CCにて
- 7月4日(水) 金沢6RC合同役員会
ニューグランドホテルにて
- 7月5日(木) 予算編成会議
松魚亭にて
- 7月12日(木) 理事会・クラブ協議会
松魚亭にて
- 7月19日(木) 国際奉仕委員会炉辺会合
よし全にて
企画・情報・例会委員会合同炉辺会合
よし全にて

9月講話予定

- 9月13日(木) 「台湾ロータリー事情(女性RCについて)」
鈴木 透会長
- 9月20日(木) 「スポーツと私」
石川県婦人スポーツ協議会
会長 半田律子氏
- 9月27日(木) 「ゴミ公害」
越野民男会員

第842回例会

◆ 8月23日(休)はれ 12:30~13:30 松魚亭



1. 講話
「兼六園保勝の舞台うら」
兼六園管理事務所所長
下郷稔氏
2. 出欠
出席54名、欠席28名
出席率65.85%
ビジター32名
3. 来訪者(敬称略)
金沢RC 山田治作
富木昭光、井上幸男

津田千義、加藤晃、岩崎
神亮一、武部昭一

金沢東RC 片岡進、中島秀雄
紙谷稷、汐井利男、浦田進
富久尾堅、砂崎友和、浅田裕久
金沢西RC 作田昭七、成瀬巖
嶋崎美納利、藤川範昭、太田辰巳
若松明夫、小林武司、篠原達郎
金沢南RC 沖野太作、飯田秀雄
川原善一、猪苗代勉
香林坊RC 成瀬栄蔵
坂井真之輔、高辻時長

4. 皆出席顕彰

- 20カ年 越野民男君
12カ年 木下和吉君、魚住安彦君
5カ年 浅田禎男君
1カ年 米永 章君

5. ニコニコボックス

- 越野君 とにかく20カ年皆出席しました。
鈴木君 前々回の例会に欠席致し、吉田副会長に御迷惑をおかけ致しました。台湾時代の同級生の告别式に参列して参りました。台湾の珍しいロータリーにも出て参りました。又、柴田先輩から貴重なロータリー文献を頂きました。頂きました上には、勉強させて頂くと共に次期会長にお引き渡したいと思えます。有難うございました。
- 中谷君 猛暑が続きます。今晚親睦・友好合同炉辺会合です。委員の皆様、どうかお忘れなく。8月4日に4,350gの立派な男の子が授けられました。孫も6人になりました。
- 畔柳君 毎日が暑いので、せめて財布だけでも少し淋しくしようか。
- 松田君 昨日は根上町商工会にて、特許に関する講演をさせて頂きました。

合計18,000円 (累計 183,000円)

6. 今週のニュース

- 生体肝移植の裕弥ちゃん(1.8才)285日目に死亡。
- クエート在留邦人 223人、バグダットへ移送後、軟禁される。
- 中東情勢緊迫で原油価格30ドル台突破
東証平均株価、2万4千円を割る。